

# 里地里山の役割

いろいろな



## 農業・農村の持つ多面的機能

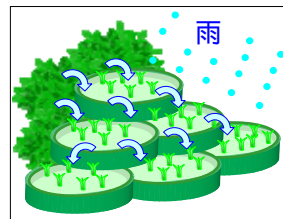
山形県内の評価額 (億円/年)

評価項目	評価額
洪水を防ぐ	1,088
土が流れ出すのを防ぐ	58
土砂崩れを防ぐ	58
水をたくわえ川の水を安定させる	593
水をきれいにする	2
空気をきれいにする	2
暑さをやわらげる	1
旅行など心の安らぎをもたらす	595
計	2,398

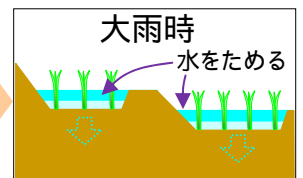
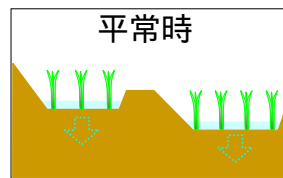
(国試算, H12.12)

里地里山関係の価値について、日本学術会議が評価を行っており、農業・農村の多面的機能として約8兆2千億円(全国)と算出されている。山形県の評価額は、国の試算で約2千4百億円となっている。

## 川下の地域を守る



田んぼは米を作るだけでなく、雨水を一時的にためるダムのような役割を持っている。土砂が流されるのを防いだり、雨を地下水として蓄えたりする機能も持っている。



## いのちの大切さを学ぶ

里地里山は人々の手が加えられた二次的な自然で、豊かな生態系がぎざかれている。農業体験や自然とふれあう環境学習の場として活用されている。



# 大蔵村 四ヶ村の 棚田

(豊牧地区航空写真)

(写真提供：水土里ネットやまがた (水土里情報システム))



第16回やまがた農村フォトコンテスト 入選  
寒河江市/安藤堅一さん「昼休みのファミリー」(場所:大蔵村)

## 特集 里地里山 の保全・活用

人の営みにより形成

里地里山とは、農山村の集落や田畑、それらを取り巻く身近な森林などで構成される地域のことである。古来からの人間の営みにより形成されてきた土地であり、国土の保全や豊かな自然環境、都市住民へのやすらぎの場の提供など、重要な役割を担っている。

人が作り上げてきた土地であるため、人が手入れを続けていかなければ守れない土地でもある。

荒廃が進む里地里山

近年、過疎化や少子高齢化が進行して、山の手入れができなくなったり、田畑の耕作をやめてしまう地域が増加している。その結果、里地里山の荒廃が急速に進んでいる。

一方で、里地里山の価値を見直し、保全・活用を進めようとする活動も各地で開始されている。

里地・里山という貴重な財産をみんなですべて守っていく取り組みを広げていくことが重要である。